



おれんじニュース

No.436

2026年9月

富士山 剣ヶ峰(2026/8/9 浦山氏撮影)

2026年	9月	10月	時 間	場 所
専門部会	26(土)	24(土)	13:30~14:30	西諫早公民館
全体集会			14:30~16:00	

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	5
絹笠山	6
山河を彩る野鳥たち	7
霊峰白山とお花畑探訪	8
霊峰富士山に挑む	9
おれんじカレンダー	10



月例山行案内

- * 下記は変更になる場合があるので最終的に配布される計画書で確認願います。
- * 申込は会員優先です。一般参加はキャンセル待ちとし、可否は期限後に連絡します。
- * 一般参加で未保険の方は、各自で日帰り登山保険に加入のうえご参加ください。

部	自然・山行部	ひまわり部	技研部
月 / 日 (曜)	9/20 (日)	9/25 (金)	9/27 (日)
山名 (行事)	黒髪山	金比羅山	八郎岳
Start/Goal	竜門ダム P/竜門ダム P	立山公園/立山公園	熊ヶ峰分岐/熊ヶ峰分岐
地 図	有 田	長崎東北部	長崎西南部
集 合 場 所	緑地公園 8:00	緑地公園 9:00	西諫早駅 8:00
難 易 度	体力 1.5/技術 1.5	体力 1/技術 1	体力 1.5/技術 1
帰 着 時 間	17:00	15:30	16:30
歩 行 時 間	4.5h	3.5h	6.0h
交 通 手 段	マイカー	マイカー	マイカー
宿 泊 施 設	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし
参 加 費	2,000	800	1,000
申 込 期 限	9/13;	9/22	9/20
集 約	西	田 中	山下ちず子
備 考	青磁色の湖面を見ながら、変化に富んだ稜線を縦。	山頂からの展望良し。ダンギクの花が見られる。	近年伐採用の林道が増加し道迷いが多い、読図で切り抜けよう。

9 月

部	自然・山行部	技研部	ひまわり部
月 / 日 (曜)	10/11~13 (日. 月. 火)	10/25 (日)	10/30 (金)
山名 (行事)	野崎島	秋の坊がつる	高岩山
Start/Goal		長者原・長者原	宝原園地・宝原園地
地 図	小値賀	久 住	雲仙・島原
集 合 場 所	西駅 6:32 諫早駅 6:39	西諫早駅 6:30	緑地公園 9:00
難 易 度	体力 1/技術 1	体力 1.5/技術 1	体力 1/技術 1
帰 着 時 間	10/13・18:00	18:00	15:30
歩 行 時 間	2 日間、8.0h	5.0h	4.0h
交 通 手 段	J R・高速船	マイクロバス	マイカー
宿 泊 施 設	自然学塾村	なし	なし
温 泉	なし (シャワー有り)	なし	なし
参 加 費	28,000 (交通費・宿泊費)	5,000	800
申 込 期 限	9/11	10/5	10/28
集 約	西	鎗 水	田中静香
備 考	ユネスコ世界文化遺産の島を巡る、旧野首教会。	コンパスと地形図を使った、道迷い防止の実践講習を行う、余裕のある行程。	山頂からの展望良し。海の方こうには天草諸島が広がる。

10 月

事務局より

- ・ 8 月 1 日付けで安達重雄さん(西郷町)が入会されました。
心身ともに健康で元気な方です。皆さんよろしく願いいたします。

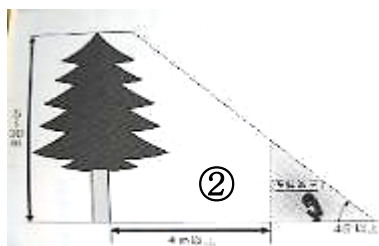


◇ 山岳気象遭難

落雷の実態  * 「落雷は防げないが、落雷事故は防ぐことが可能」		
	落雷事故①	落雷事故②
発生日・場所	1967/8/1 西穂高岳独標(2701m)付近で下山していた時に被雷した。	2012/8/18 槍ヶ岳(3180m)の東鎌尾根、槍ヶ岳穂先
被災概要	長野松本深志高校のパーティー50名のうち11名死亡、13名負傷	一般登山者1名が東鎌尾根登山中に被雷し重症、槍ヶ岳穂先で1名死亡
当日の天候状況	9時頃まで快晴10時頃から頂上付近に雲がわき始める、 10時45分に独標に着いた時には積雲が周囲の山に発生、昼食後には西からガスが発生、西穂頂上ではガスと大粒の雨になり下山。雨は一時止むが雷と風雨が続く。	10時頃までは晴、10時過ぎに槍ヶ岳、穂高岳はガスに包まれる。11時過ぎになると雨が降り始め30分後には強くなり、雷鳴も聞こえ始める。13時過ぎには雨が止みガスも晴れ雷鳴も遠くなったが、1発の雷が槍ヶ岳から下山中の登山者をおそった。
事故の原因	1. 観天望気の認識不足 2. 稜線で一列になっていた	1. 観天望気の認識不足 2. 山小屋の関係者の忠告を無視した
事故防止の対策	1. 観天望気による天候の予測 2. 地形やメンバーの技術、体力体調の判断をする。	1. 観天望気による天候の予測 2. 現地の気象状況を把握しておく、山小屋の人の忠告は素直に受ける。

雷に遭遇した場合の対処

- * 稜線からすぐに降りる(雷は一番高い所に落ちる)
 - * 稜線からの非難が困難な場合や、広い場所にいるときはしゃがんで姿勢を低くする。(図①)
 - * 高い木があれば4m以上はなれて45度以上の角度で見上げる保護範囲に入る。(図②)
- 但し、**保護範囲**は木の真下にいるより、一定の条件を満たした位置に退避するという意味で、**安全地帯**のことではない
- * 登山パーティではお互いの間隔を4m以上あける。(雷の側撃を避ける)



雷についての誤解

- ・ 金属に落ちる → 高い物に落ちやすい
- ・ 雷は上から落ちる → 真横、下からも落ちる
- ・ 一度落ちたら落ちない → 何度でも落ちる
- ・ 海に落ちない → 落ちる、海は電気をよく流す
- ・ 雨が止んだら落ちない → 積乱雲から落ちる

県連より

- ・ 9月19日(土)「秋の花自然観察会」：バスハイク佐賀県の天山・西駅前 8:30 発
- ・ 10月11日(日)「岩場歩行訓練」：場所未定(矢岳 or 豊前坊)
- ・ 10月31日(土) 被爆遺構巡り：場所未定 ガイド：橋本氏・締め切り申し込み 10月10日
平和登山：ガイド未定、集合場所：浦上駅 8:30

◇ 県連沢登り

- ・7月19日(日)黒木のウナギテ沢にて県連の沢登りが実施された。参加者は13名(オレンジ3名)。当日は例年に比べ水量が少なく滝登りも意外と登りやすく、3か所の滝と沢を歩き、全員無事登り終えた。

『感想』

- *水しぶきの中、滝を登る気分は登山と違った非日常を体験できた。
- *涼しくてとても楽しく、また挑戦したい。懸垂下降もしてみたい。



水量少なめ



満面の笑み？

- *泳ぐほどの深い場所はなく、滝の岩肌は掴みどころが少なく、ロープのありがたさを実感した。スリルと沢の涼しさを満喫でき、また参加したいと思った。

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

開催日	場 所	参加者数	訓練概要
8月1日	黒木小川内川沢登り	6名	渡渉・滝の登攀、懸垂降下



渡渉状況



渡渉状況2



小滝の登攀



懸垂下降(エイトカン)

火曜登山

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
7月21日	銀嶺溪	6	大駐車場～銀嶺溪～大渡橋～小松尾公園
7月28日	遠目山	9	妖怪の森登山口～遠目山往復
8月4日	猿葉山	9	少年自然の家P～竈岳～神社登山口P
8月11日	絹笠山	8	体育館～絹笠山～白雲の池登山口

水曜登山

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
7月22日	多良岳	6	金泉寺登山口～多良岳～864峰～役行者
8月5日	高岩山	6	宝原園地～高岩山～白雲の池～一夜太子
8月12日	八郎岳・兜岳	4	烏帽子岩P～八郎岳～兜岳

緑の地平線歩き

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
7月23日	多良山系	3	金泉寺登山口～金泉寺～西の越

7/31(金) 絹笠山

行 程

緑地公園 9:00～白雲の池 P 10:00～(休憩所)～絹笠山 11:30～(昼食 30 分)

～オオキツネノカミソリとナツエビネの群生地 12:20～休憩所 13:00～展望台 13:20

～白雲の池 P14:00～緑地公園 15:10



概要

白雲の池の駐車場から歩きだす。池を左側に廻り、ナツエビネの花がある所に見に行ったが、一輪咲いているだけでまだ早かった。管理棟の横から登山道に入る。緩やかな道を登る。途中に休憩所あり、ここから少しきつい登りが終わると温泉街と絹笠山の分岐で、標識が立っていた。ここから山頂までは 3 分くらいで着く。

展望台が新しくなっていた。千々石の方向は木が伐採されていた。頂上の東屋で昼食、涼しかった。

分岐に戻り、温泉街の方に 5m 下り、左側の林の中の急斜面を下りキツネノカミソリとナツエビネの群生地へ。オオキツネノカミソリは満開だったが、ナツエビネはまだだった。分岐に戻り来た道に戻る。休憩所から右に入り展望岩に行く。眼下には白雲の池、温泉街、雲仙の山々、眺望良好。駐車場に無事に到着。



参加者：今坂, 高田, 高森
工藤吉崎, 福岡



一言感想

- * 絹笠山は予想以上に涼しくて、咲き始めのナツエビにも会えて良かった。
- * お弁当を食べた絹笠山の山頂は涼しく、風が吹いてひんやりしていました。展望岩からは雲仙温泉街や白雲の池など展望が良く、ゆったりとした癒される山行でした。

山河を彩る野鳥たち

吉原さんが撮ってこられた鳥の写真がカメラのキタムラ諫早店(鷺崎町)で、ディスプレイの回転表示で展示されています。テレビ画面で大きく見ることができ、とても美しいです。ここにはそのほんの1部を載せています。(カメラのキタムラでは、9月末まで展示)



ヤマガラ



シマアオジ



シジュウカラ



ヤイロチョウ



ルリビタキ



カワセミ



ブッポウソウ



オオルリ



アカショウビン



ソウシチョウ



キビタキ



カッコウ

7/25~28 霊峰白山とお花畑探訪

参加者：国分・白石

行程：8/26 別当出合登山口～南竜分岐～黒ボコ岩～白山室堂泊
8/27 白山室堂～御前峰～翠ヶ池～お花松原～白山室堂～南竜山荘泊
8/28 南竜山荘～南竜分岐～別当出合登山口

概要：金沢から登山バス、シャトルバスと乗り継ぎ、別当出合登山口へ。砂防新道を登った。日本三大霊山の一つでもある登山道は整備されている。立山と同名称が多い。白山最高峰「御前峰」登頂後「お花松原」へ。翌日南竜山荘を出発し、やはり花の白山、ここで花を満喫して登山道を登り返し白山室堂に戻り、展望歩道を経由して南竜山荘へ。ここの湧き水が冷たくて気持ちよかった。翌日南竜山荘を出発し、別当出合登山口まで約1.3kmの地点より雷鳴と強い雨で登山道は川となったが、そのまま下山した。

剣ヶ峰

御前峰

翠ヶ池



室生平と別山



弥陀ヶ原平



*感想

「白山に固有種植物」は無いが、花の白山と言われるだけに、百花繚乱の山だった。黄に白にピンクに、オレンジ、紫、黒と、色とりどりの花が一斉に咲いて枚挙に遑なかった。ニッコークスゲやハクサンコザクラの原っぱが広がり、「花の松原」では見事な一面の黒ユリ畑だった。今回目的の一つ、白山最高峰の御前峰からのご来光は残念、ガスで期待できず。下山し、二つ目のお花畑松原へ進み2時間ほど花を堪能しながら歩く。初対面のクロユリに感激した。他、多数のお花たちにたっぷり癒された。



8/2~8/11 霊峰富士山に挑む



◇ 須走口ルート (吉川春美)

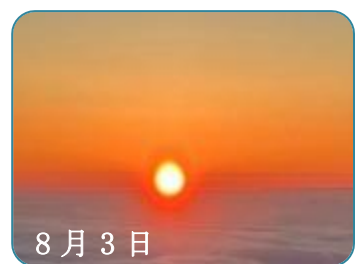
・概要:

8/2 須走口五合目 (2000m) 13:40~16:20 本六合目「瀬戸館」泊 (2700m)

8/3 5:30 出発~9:00 本八合目「トモエ館」「胸付江戸屋」(3370m)
~吉田口 11:00 富士山頂浅間大社 (3710m)・12:00 お鉢巡り
~13:10 剣ヶ峰 (3776m) 着。

8/4 5:40 山頂発~7:50 七合目「太陽館」(2920m) この辺りから砂走り
~10:00 須走口砂払五合目 (2300m) ~11:00 須走口五合目 (2000m)。

- ・感想: 須走口からの登りは七号目まで樹林帯が続き歩きやすかった。高山病が怖かったのでひたすら呼吸法を意識して歩くことで登頂出来た。下りの砂走りが長く感じたが、転倒もなく下山できてよかった。体力を試された山行だった。



◇ 吉田口ルート (本多一幸)

・概要:

8/4 河口湖駅～富士吉田口五合目 9:00～12:20 8合目(太子館泊)

8/5 太子館 3:15～吉田口山頂 6:30～お鉢回り(左)～剣ヶ峰 7:45～吉田口山頂 8:45
～11:25 富士吉田口五合目～14:00 バスターミナル新宿

- ・感想: 富士山は「眺める山」と思い未踏だったが、今回は高所での心肺順応を目的に登った。高山病対策として、腹式呼吸や登行速度の調整、五合目での休憩などを試みた結果、症状は出なかった。

一方、八合目を過ぎると大腿四頭筋に疲労を感じ、起床後頂上まで何も食べなかった為、シャリバテが原因と思われる。天候にも恵まれ、高所での体調管理など多くを学んだ有意義な山行となった。



8月4日



剣ヶ峰



富士山頂上浅間大社奥

◇ 富士宮ルート (浦山信彰)

・概要:

8/8 富士宮口五合目 12:50～16:00 池田館泊

8/9 池田館 1:30～4:15 富士山頂～6:30 下山開始～9:00 宝永山～10:00 富士宮口。

- ・感想: 八合目までの山小屋までは同行2名がハイペースで僕は息を切らしながら登る。標高3,250mの池田館では軽い頭痛があったが翌朝は回復(薬服用の効果?)
2日目は午前1時に起床、大渋滞の中山頂を目指し、麗なご来光を観られて眼福。宝永山方向から下山したが、大砂走りで砂利に靴が大きく吸い込まれ難儀。この時ストックも使ったが転んでしまい軽い擦過傷に(慎重に下る必要あり)。また、ゲーター無し
の2人は砂利が靴に入り苦労していた(装備は重要と痛感)。
全体を通しての考察として、富士山を登るのはそんなに難しくないと思っていたが、予想を超えてハードだった(余裕で登れると甘く見たことを反省)。
令和8年8月8日に8合目の池田館に宿泊出来て、ささやかな幸せを感じた。



8月9日



おれんじカレンダー

9 月			10 月		
1	火	火曜登山 (自主)	1	木	
2	水	水曜登山 (自主)	2	金	
3	木	緑の地平線歩き (自主)	3	土	
4	金		4	日	
5	土	コンパニオンレスキュー キャンプ & 沢登り 於黒木	5	月	
6	日		6	火	火曜登山 (自主)
7	月		7	水	水曜登山 (自主)
8	火	火曜登山 (自主)	8	木	緑の地平線歩き (自主)
9	水	水曜登山 (自主)	9	金	
10	木	緑の地平線歩き (自主)	10	土	
11	金		11	日	野崎島 (自然・山行部)
12	土		12	月	
13	日		13	火	
14	月		14	水	水曜登山 (自主)
15	火	火曜登山 (自主)	15	木	緑の地平線歩き (自主)
16	水	水曜登山 (自主)	16	金	
17	木	緑の地平線歩き (自主)	17	土	
18	金		18	日	
19	土	秋の花の自然観察会・天山(県連)	19	月	
20	日	黒髪山 (自然・山行部)	20	火	火曜登山 (自主)
21	月		21	水	水曜登山 (自主)
22	火	火曜登山 (自主)	22	木	緑の地平線歩き (自主)
23	水	水曜登山 (自主)	23	金	
24	木	緑の地平線歩き (自主)	24	土	専門部会・全体集会 観天望気③ (技研部)
25	金	金毘羅 (長崎) (ひまわり部)	25	日	
26	土	専門部会・全体集会 観天望気② (技研部)	26	月	長者原～雨ヶ池～坊ガツル(技研部)
27	日	八郎岳 (技研部)	27	火	火曜登山 (自主)
28	月		28	水	水曜登山 (自主)
29	火	火曜登山 (自主)	29	木	緑の地平線歩き (自主)
30	水	水曜登山 (自主)	30	金	高岩山 (ひまわり部)
			31	土	

定期トレーニング

集合場所・緑地公園

火曜登山(自主) 毎週火曜 8:30

水曜登山(自主) 毎週水曜 8:00

地平線歩き(自主) 毎週木曜 9:00

コンパニオンレスキュー第Ⅰ土曜 9:30



発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	国分 徳子
編集責任者	高田啓子
編集委員	工藤学、中野美津子、吉原昌弘、 陣川光子、西寿男、福岡正廣
発行年月日	2026/8/29(土)
郵便振込口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com

